

2014年3月期 第2四半期 決算説明会資料



2013年(平成25年) 11月6日

京阪電気鉄道株式会社

(東証1部 9045 <http://www.keihan.co.jp/>)

◆見通しに関する注意事項◆


業績予想及び将来の予測等に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としています。

実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。



2014年3月期 第2四半期

決算の概要



連結損益計算書



(単位：百万円)

	2012/09	2013/09	増減	増減要因	4月時点見込
営業収益	129,648	131,225	1,577 (1.2%)	運輸業△60、不動産業+1,830、流通業△811、 レジャー・サービス業+457、その他の事業+61	129,400
営業利益	12,204	13,061	857 (7.0%)	運輸業+233、不動産業+545、流通業+172、 レジャー・サービス業△73、その他の事業△7	10,600
経常利益	10,161	11,266	1,104 (10.9%)	営業外収益+108 (受取配当金+30、雑収入+78) 営業外費用△139 (支払利息△234、雑支出+95)	8,500
四半期純利益	6,566	7,737	1,170 (17.8%)	特別利益+503 (投資有価証券売却益+616、工事負担金等受入額△36) 特別損失+79 (固定資産売却損+96)	5,300

EBITDA	20,594	21,307	712 (3.5%)	EBITDA：営業利益+減価償却費	—
減価償却費	8,389	8,245	△144 (△1.7%)		—

【連結範囲及び持分法の適用の異動状況 (対前期)】

連結子会社 37社 (一社)

持分法適用会社 2社 (一社)

連結貸借対照表



(単位：百万円)

		2013/03	2013/09	増減	増減要因
資	流動資産	134,596	137,225	2,629	販売土地及び建物+12,128、現金及び預金△7,133、 受取手形及び売掛金△5,004
	固定資産	518,866	515,444	△3,421	出資金△3,257
	資産合計	653,462	652,670	△791	
負	流動負債	176,940	167,012	△9,928	未払金△10,116、短期社債△1,000、 短期借入金+2,998
	固定負債	318,400	319,013	613	長期借入金+1,629、長期未払金△1,387
	負債合計	495,340	486,025	△9,315	
純資産		158,121	166,645	8,523	利益剰余金+5,470、その他有価証券評価差額金+2,091 ※自己資本比率25.1% (+1.3pt)
負債純資産合計		653,462	652,670	△791	
有利子負債残高		327,880	329,979	2,098	借入金+4,628、短期社債△1,000、 長期未払金△1,319、社債△210

※有利子負債：借入金+社債+短期社債+鉄道建設・運輸施設整備支援機構長期未払金

連結キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円)

	2012/09	2013/09	増減	増減要因
営業キャッシュ・フロー	16,777	2,208	△14,569	たな卸資産の増加△9,327 法人税等の支払額の増加△2,434 売上債権の減少△1,813
投資キャッシュ・フロー	△11,064	△9,068	1,996	投資有価証券の売却による収入の増加+2,502 固定資産の取得による支出の増加△990
財務キャッシュ・フロー	△5,849	△273	5,575	借入金の増加 +6,887 社債の減少△1,065
現金及び現金同等物の増減額	△136	△7,133	△6,997	
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	204	—	△204	
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,195	15,669	△3,526	

セグメント情報

(単位：百万円)

	2012/09	2013/09	増減額	増減率
営業収益	129,648	131,225	1,577	1.2%
運輸業	45,117	45,056	△60	△0.1%
不動産業	29,983	31,814	1,830	6.1%
流通業	46,589	45,777	△811	△1.7%
レジャー・サービス業	13,577	14,035	457	3.4%
その他の事業	740	801	61	8.3%
消去	△6,360	△6,260	99	—

	2012/09	2013/09	増減額	増減率
営業利益	12,204	13,061	857	7.0%
運輸業	4,379	4,613	233	5.3%
不動産業	5,889	6,434	545	9.3%
流通業	956	1,128	172	18.0%
レジャー・サービス業	927	853	△73	△7.9%
その他の事業	1	△5	△7	—
消去	49	36	△13	—

(注) 第1四半期連結会計期間より、従来「運輸業」セグメントで管理していた㈱京阪エンジニアリングサービスを、管理区分の変更に伴い「不動産」セグメントへ移管しております。

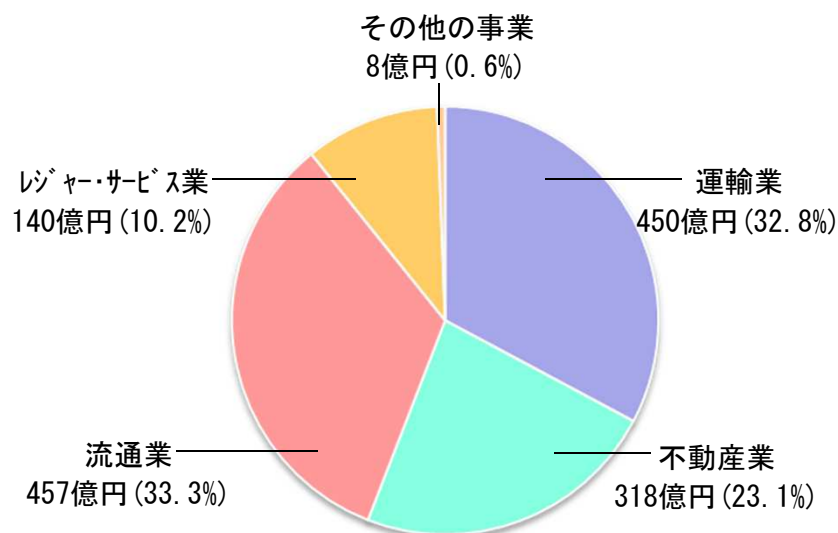
これにより、2012/09の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

セグメント情報(構成比)

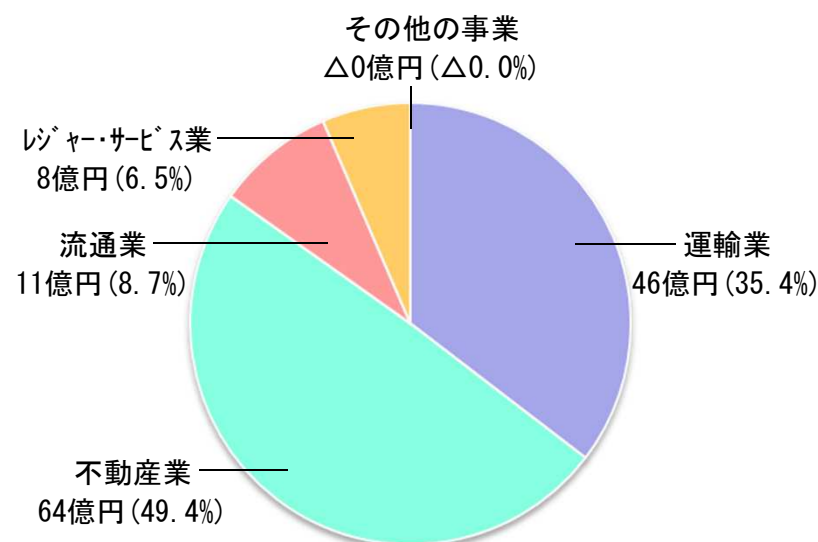
【連結会社】 38社 (京阪電鉄は運輸業及び不動産業に重複) 【持分法適用会社】 2社

運輸業	京阪電鉄、京福電鉄、京阪バス 他12社
不動産業	京阪電鉄、京阪電鉄不動産、イースタン興業 他5社
流通業	京阪百貨店、京阪ザ・ストア、京阪流通システムズ 他2社
レジャー・サービス業	ホテル京阪、京都タワー、京都センチュリーホテル、琵琶湖汽船 他6社
その他の事業	京阪カード

＜セグメント別営業収益＞



＜セグメント別営業利益＞



(注)セグメント数値は、セグメント間取引を含む金額、構成比である。

運輸セグメント実績

(単位：百万円)

	2012/09	2013/09	増減額	増減率	摘要
営業収益	45,117	45,056	△60	△0.1%	鉄道事業 36,282 (+2) バス事業 13,172 (+66) 消去 △4,398 (△129)
営業利益	4,379	4,613	233	5.3%	鉄道事業 4,232 (+109) バス事業 358 (+126)

《運輸成績（京阪電鉄）》

	旅客人員				旅客収入			
	2012/09	2013/09	増減額	増減率	2012/09	2013/09	増減額	増減率
	千人	千人	千人	%	百万円	百万円	百万円	%
定期外	72,081	71,694	△387	△0.5	16,717	16,608	△108	△0.6
定期	69,051	69,139	87	0.1	7,992	7,984	△7	△0.1
合計	141,133	140,833	△299	△0.2	24,709	24,593	△116	△0.5

不動産セグメント実績

(単位：百万円)

	2012/09	2013/09	増減額	増減率	摘要
営業収益	29,983	31,814	1,830	6.1%	不動産事業 24,524 (△9) 建設事業 9,116 (+52) 消去 △1,827 (+1,787)
営業利益	5,889	6,434	545	9.3%	不動産事業 6,480 (+561) 建設事業 △60 (△0)

《不動産事業内訳》

	営業収益				営業利益			
	2012/09	2013/09	増減額	増減率	2012/09	2013/09	増減額	増減率
不動産販売業	15,208	15,374	166	1.1%	1,477	2,282	804	54.5%
不動産賃貸業	8,246	8,020	△225	△2.7%	4,421	4,136	△285	△6.5%
不動産管理業	1,080	1,129	49	4.6%	21	62	41	196.0%
計	24,534	24,524	△9	△0.0%	5,919	6,480	561	9.5%

《主なマンション分譲物件》

名称	売上高	販売戸数	所在地
ファインシティ大阪城公園	6,008	191戸	大阪府中央区
A-standard本郷三丁目	2,436	56戸	東京都文京区
ファインフラッツ京都西院ガ・レジデンス	1,256	41戸	京都市右京区
A-standard渋谷桜丘	361	6戸	東京都渋谷区

流通セグメント実績



(単位：百万円)

	2012/09	2013/09	増減額	増減率	摘要
営業収益	46,589	45,777	△811	△1.7%	百貨店業 25,857 (△25) ストア業 12,693 (△426) ショッピングモールの経営 5,344 (△297) 飲食業 3,356 (△33)
営業利益	956	1,128	172	18.0%	百貨店業 108 (△8) ストア業 402 (+154) ショッピングモールの経営 511 (+18) 飲食業 98 (+7)

《主な新規店舗》

名称	開業年月	所在地
SWEETS BOX 西武新宿ペペ店	2013年 9月26日	東京都新宿区
ジュサーバ-東急南町田店	2013年 4月10日	東京都町田市
ジュサーバ-東急長津田店	2013年 4月10日	横浜市緑区
ジュサーバ-京成津田沼店	2013年 3月 7日	千葉県習志野市
ジュサーバ-名駅テルミナ店・名駅太閤通北口店	2013年 2月20日	名古屋市南中村区
SWEETS BOX 新秋津店	2012年11月 1日	東京都東村山市
ジュサーバ-・SWEETS BOX シャポー市川店	2012年10月23日	千葉県市川市

《主な閉鎖店舗》

名称	閉鎖年月	所在地
函館市場 桂店	2013年 7月28日	京都市西京区
フレスト駒川店	2013年 6月30日	大阪市東住吉区
京阪ザ・ストア 牧野店	2013年 1月31日	大阪府枚方市
芦刈ビルトフ ラザ イースト店	2012年 7月21日	大阪市北区

《百貨店業売上高》 (単位：百万円)

店舗	売上高	増減額
守口店	11,373	△70
枚方店	3,365	29
京橋店	3,513	6
くずは店	4,806	△53
住道店	2,504	69
諸収入	293	△5
合計	25,857	△25

《ストア業売上高》 (単位：百万円)

部門	売上高	増減額
ストア	5,528	△346
CVS	2,847	△57
駅売店	338	△19
駅ビジネス	3,384	△91
諸収入	595	89
合計	12,693	△426

レジャー・サービスセグメント実績

(単位：百万円)

	2012/09	2013/09	増減額	増減率	摘要
営業収益	13,577	14,035	457	3.4%	ホテル事業 11,562 (+508) レジャー事業 2,550 (△52)
営業利益	927	853	△73	△7.9%	ホテル事業 696 (△65) レジャー事業 267 (△8)

《ホテル稼働率 内訳》

		2012/09	2013/09	増減	客室数
ホテル 京阪	京 橋	91.6%	87.7%	△3.9pt	214室
	天 満 橋	81.0%	93.0%	12.0pt	317室
	京 都	96.8%	99.3%	2.5pt	286室
	ユニバ [®] -サル・シティ	82.5%	82.9%	0.4pt	330室
	ユニバ [®] -サル・タワー	84.5%	88.4%	3.9pt	641室
	浅 草	95.4%	95.8%	0.4pt	178室
	札 幌	93.1%	95.8%	2.7pt	200室
琵琶湖ホテル		83.5%	81.6%	△1.9pt	171室
京都 タワー	京都タワーホテル	94.6%	83.7%	△10.9pt	158室
	京都第2タワーホテル	86.4%	89.7%	3.3pt	303室
	京都タワーホテルアネックス	96.4%	95.6%	△0.8pt	122室
京都センチュリーホテル		91.1%	89.1%	△2.0pt	220室
合 計		—	—	—	3,140室

単体損益計算書



(単位：百万円)

	2012/09	2013/09	増減額	増減率	摘要	4月時点見込
営業収益	39,032	42,978	3,946	10.1%		42,300
鉄軌道事業	26,275	26,217	△57	△0.2%	旅客人員△0.2%、旅客収入△0.5%	
兼業	12,756	16,760	4,004	31.4%		
土地建物販売事業	3,648	8,012	4,364	119.6%		
土地建物賃貸事業	7,562	7,339	△222	△2.9%		
レジャー事業	1,545	1,408	△136	△8.9%	ひらかたパーク入場人員△1.8%	
営業利益	8,182	9,432	1,250	15.3%		8,210
鉄軌道事業	3,675	3,851	175	4.8%		
兼業	4,506	5,581	1,074	23.8%		
土地建物販売事業	370	1,780	1,410	380.3%		
土地建物賃貸事業	4,007	3,716	△290	△7.3%		
レジャー事業	127	83	△44	△34.9%		
経常利益	7,214	8,798	1,583	21.9%	営業外収益+165 (受取配当金+262、 貸倒引当金戻入額△104) 営業外費用△168 (支払利息△186)	7,510
四半期純利益	4,756	6,417	1,660	34.9%	特別利益+581 (投資有価証券売却益 +616、工事負担金等受入額△36) 特別損失△27 (工事負担金等圧縮額△32)	5,000



2014年3月期

業績予想



連結業績予想



(単位：百万円)

	2013/03	2014/03 (予想)	増減額	増減率	増減要因	4月時点見込
営業収益	279,156	280,500	1,343	0.5%	運輸業△528、不動産業+2,151、流通業△1,224、レジャー・サービス業+618	274,400
営業利益	23,289	21,100	△2,189	△9.4%	運輸業△598、不動産業△1,336、流通業△152、レジャー・サービス業△90	19,700
経常利益	18,933	17,700	△1,233	△6.5%	営業外収益+646、営業外費用△310	15,700
当期純利益	11,077	11,300	222	2.0%	特別利益+18,274、特別損失+17,841	9,200

設備投資額	19,977	32,000	12,022	60.2%	【設備投資内訳】 運輸業 10,400 (△2,212) 不動産業 17,700 (+12,915) 流通業 2,100 (+1,084) レジャー・サービス業 1,400 (△240) 全社管理他 400 (+475) 《当期の主な設備投資》 (運輸) 当社鉄道投資6,416 (不動産) 当社不動産投資17,559	34,600
減価償却費	17,071	16,600	△471	△2.8%		16,800
EBITDA	40,361	37,700	△2,661	△6.6%		36,500
有利子負債	327,880	330,900	3,019	0.9%		341,000
有利子負債EBITDA倍率	8.1倍	8.8倍	0.7	—		9.3倍

連結業績予想(セグメント情報)



(単位：百万円)

	2013/03	2014/03 (予想)	増減額	増減率	増減要因	4月時点見込
営業収益	279,156	280,500	1,343	0.5%		274,400
運輸業	89,328	88,800	△528	△0.6%	鉄道事業△376	88,200
不動産業	78,948	81,100	2,151	2.7%	不動産販売業+578、不動産賃貸業△382、 消去+2,041	76,300
流通業	96,224	95,000	△1,224	△1.3%	ストア業△811、ショッピングモールの経営△283、 百貨店業+14	94,900
レジャー・サービス業	26,081	26,700	618	2.4%	ホテル事業+863、レジャー事業△188	26,200
その他の事業	1,487	1,600	112	7.6%		1,600
消去	△12,914	△12,700	214	—		△12,800

営業利益	23,289	21,100	△2,189	△9.4%		19,700
運輸業	6,398	5,800	△598	△9.3%	鉄道事業△612	5,700
不動産業	13,936	12,600	△1,336	△9.6%	不動産賃貸業△1,204、不動産販売業+70	11,400
流通業	2,052	1,900	△152	△7.4%	ショッピングモールの経営△362、百貨店業△204、 ストア業+444	1,800
レジャー・サービス業	890	800	△90	△10.2%	レジャー事業△117、ホテル事業+48	800
その他の事業	△31	0	31	—		0
消去	43	0	△43	—		0

(注) 第1四半期連結会計期間よりセグメント区分を一部変更しており、2013/03の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。
また、4月時点見込の数値についても変更後のセグメント区分に組み替えた数値を記載しております。

単体業績予想



(単位: 百万円)

	2013/03	2014/03 (予想)	増減額	増減率	増減要因
営業収益	86,254	84,300	△1,954	△2.3%	
鉄軌道事業	52,558	52,220	△338	△0.6%	旅客人員△0.4%、旅客収入△0.6%
兼業	33,696	32,080	△1,616	△4.8%	
営業利益	15,544	13,400	△2,144	△13.8%	
鉄軌道事業	6,326	5,600	△726	△11.5%	
兼業	9,218	7,800	△1,418	△15.4%	
経常利益	12,609	11,300	△1,309	△10.4%	営業外収益+652、営業外費用△183
当期純利益	7,687	7,300	△387	△5.0%	特別利益+18,514、特別損失+18,219

《運輸成績予想》

	旅客人員				旅客収入			
	2013/03	2014/03 (予想)	増減額	増減率	2013/03	2014/03 (予想)	増減額	増減率
	千人	千人	千人	%	百万円	百万円	百万円	%
定期外	144,753	143,805	△948	△0.7	33,637	33,393	△244	△0.7
定期	133,805	133,719	△86	△0.1	15,654	15,615	△39	△0.3
合計	278,558	277,524	△1,034	△0.4	49,292	49,008	△284	△0.6

TOPICS

2013年度の取り組み 進捗状況

基本方針

次の100年のために「強靱な京阪」の礎を築く

全社戦略

徹底的な効率化による体質強化

◆ 事業部門

事業構造の抜本的な見直しによる効率的な運営体制の構築

- ・事業手法の見直し
- ・グループ内再編や統合
- ・不採算事業や将来性が見込めない事業からの撤退

◆ 管理部門

コストのコントロールによる効率化の徹底

- ・京阪電鉄本社(管理)部門での「小さな本社」の実現
- ・グループ各社における管理部門のコスト削減

沿線の再耕

◆ 拠点開発の推進

- ・KUZUHA MALL第2期開発計画をはじめとする沿線戦略拠点の開発等により、住み良い沿線づくりを推進

◆ 京都戦略の推進

- ・京都におけるリーディングカンパニーとしての地位を確立
- ・「京都といえば京阪」を具現

◆ 沿線肥沃化に向けた新規事業の推進

- ・ライフサイクル支援事業の推進

中期経営計画と実績、業績予想との比較



沿線の再耕

<京都・大津エリア>

- ・世界ブランドである「京都」を活かした京阪グループの経営資源の開発・活用・発信に向けた京都戦略を推進



<枚方・くずはエリア>

- ・KUZUHA MALLのリニューアルに伴う樟葉駅を含めた周辺エリアの再開発を推進



<中之島・京橋エリア>

- ・中之島周辺の再開発や他の企業と連携したイベントなど、幅広い見地から活性化施策を検討・推進



事業戦略 ー運輸業ー

「安全・安心」の提供

◆ 各種訓練の実施

列車事故、自然災害、テロなどの緊急時を想定した訓練を継続的に実施。対応能力を強化

◆ 新型ATSの導入推進

2014年度に京阪線一部区間で稼働開始
2016年度に京阪線全線への導入が完了する予定

◆ ホーム異常通報装置の設置

2012年度に国が指導する全ての駅への設置が完了
2017年度に京阪線全駅への設置が完了する予定
(11/1現在78駅設置済)

運営体制の効率化

◆ 他駅サポートシステムの導入拡大

2014年度に駅遠隔監視システムを京阪線の設置対象全駅への導入が完了、順次稼働予定



鉄道テロ対応訓練



ホーム異常通報装置

事業戦略 — 運輸業 —

お客さまのニーズに合致したサービス展開

◆ 車両の新造・改良を実施

- ・13000系車両の新造
- ・6000系車両のリニューアル
車いすスペースや液晶ディスプレイ案内表示器を
設置。バリアフリー対応や各種情報提供の充実など、
利便性と快適性を向上



13000系車両

◆ 嵐電「嵐山」駅商業施設リニューアル(7月13日)

- ・新規テナントや新たなステーションサービスを充実
させるとともに、「日本と京都を表現したone and only
の駅空間」を創出・発信
- ・「京都・嵯峨嵐山の観光の出発点」として、さらなる
旅客誘致を推進



「嵐山駅はんなり・ほっこりスクエア」内の
友禅を用いた「キモノ・フォレスト」

事業戦略 — 不動産業 —

短期回収型事業の継続

◆ 大型物件の販売

【ザ・京都レジデンス四条河原町】

所在地:京都市下京区河原町通四条下る
二丁目稻荷町318番7他(地番)

竣工:2015年2月末

地上11階・地下1階建、204戸+店舗1戸

【品川タワーレジデンス】

所在地:東京都港区高輪三丁目422番15他(地番)

竣工:2015年2月下旬

地上25階建、125戸



ザ・京都レジデンス四条河原町



品川タワーレジデンス

収益力強化の取り組み

◆ アセット・ポートフォリオの戦略的な入替え・ ファンド出資の推進

◆ マンション管理事業・プロパティマネジメント事業の拡大

事業戦略 — 流通業 —

KUZUHA MALL 第2期開発計画の着実な推進

「もっと誇れるくずはへ」という開発コンセプトのもと、2014年春全面開業に向けて、モール、駅ビル、駅ビル南館の一体的な再開発を推進



収益力強化の取り組み

◆ 新規出店

【SWEETS BOX】

- ・西武新宿ペペ店(9月26日)
- ・ekimoなんば店(10月31日)

◆ 退店

- ・フレスト 駒川店(6月30日)

◆ プロパティマネジメント事業の新規受注推進



SWEETS BOX 西武新宿ペペ店



SWEETS BOX ekimoなんば店

事業戦略 — レジャー・サービス業 —

観光需要の獲得に向けた取り組み

< ホテル事業 >

◆ リニューアルによる集客力の強化

【京都センチュリーホテル】

- ・四季折々の京都を楽しむフロアとして、居住性とグレード感をアップ
- ・トリプル利用対応で収容力を向上
(6月29日、36室リニューアル)



京都センチュリーホテル「コンフォートフロア～こもれび～」

【ホテル京阪京橋】

- ・スーペリアフロアを設置し、ワンランク上の安心と快適性を提供
- ・エグゼクティブビジネス層およびレディース層の取り込みを強化し顧客層を拡大
(7月4日、81室リニューアル)



ホテル京阪京橋「スーペリアフロア」客室 同エレベーターホールのセキュリティドア